

がん患者さんとそのご家族へ
外来治療センターだより **オリーブ**



オリーブは「幸せを呼ぶ木」と言われ、花言葉には「平和」「やすらぎ」「知恵」などがあります。がん患者さんやそのご家族のからだやこころの不安やつらさが少しでもやすらぐような情報を発信していきます。



AYA世代のがんについて

はじめに

AYA世代という言葉を知っていますか？

「Adolescent and Young Adult」の頭文字をとったもので、

主に15歳～39歳の思春期・若年成人のがん患者さんを表す呼び方です。

AYA世代のがんとその患者さんには、がんの特徴や世代特有の悩み事があります。

当院ではAYA支援チームを立ち上げ、医師・看護師・心理士・ソーシャルワーカーが
様々な相談に乗り、特に将来子供を持ちたいという希望についても
出来る限り力になりたいと考えています。

がんの種類

日本では、毎年約2万人のAYA世代が、がんを発症すると推定されています。AYA世代の中でも、さらに10代・20代・30代で発症しやすいがんの種類は異なってきます。

10代では白血病、精巣・卵巣などの腫瘍、脳腫瘍
などが多くみられます。20代では精巣・卵巣などの
腫瘍、白血病のほか、女性では子宮頸がんや乳がん、
甲状腺がん増えてきます。30代になると子宮頸がん、
乳がんのほか、胃がんや大腸がんなど成人に
多いがんも発症しやすくなります。(右グラフ参照)

家族のこと

がんになってしまったことを、自分の親やパートナー、子供にどのように伝えればよいのか

不安に思うかもしれません。家族に負担をかけたくないと思われる患者さんもいらっしゃいますが、

正しい情報を共有することが治療に向けての第一歩となります。

お子様が小さいうちはどこまで話すべきか悩みますが、患者さんの子供達からは「自分には何も話してくれなくて悲しかった」などのご意見もあります。

AYA世代では、ご自身のがん治療と、育児や介護が重なるケースも多くみられます。

ご家族の協力が得られない・得にくい場合もあるかと思いますが、

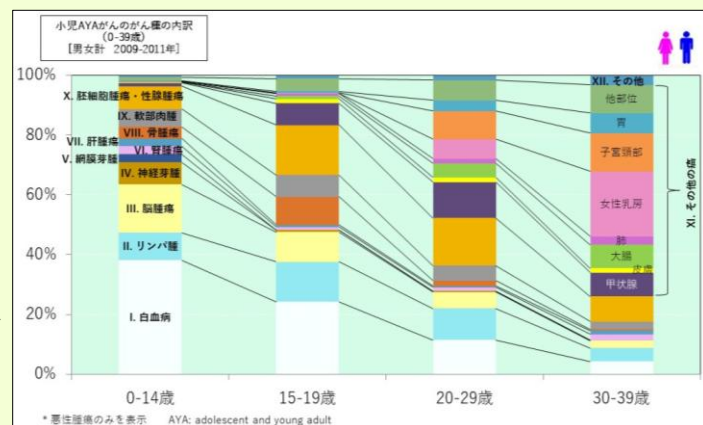
一人で抱え込まず、お悩みの時は遠慮なくご相談ください。



AYA支援チーム
院内掲示ポスター



国立がん研究センター がん対策情報センター「がん登録・統計」
小児・AYA世代:がん罹患データ(2009年~2011年)より





仕事や学校のこと、経済的なこと

がん治療と仕事・学校の両立、会社での勤務内容などに関してもご相談に乗っています。
近年の抗がん剤治療は高額なものが多く、高額療養費制度の申請をされる場合は、
早めにお住いの自治体にお問い合わせください。

また40歳未満の患者さんは介護保険の対象になりませんが、一部の自治体では
「若年がん患者在宅療養支援事業」として在宅サービス等の費用を助成してくれる場合があります。

妊孕性（にんようせい）について

手術、抗がん剤による化学療法、放射線療法は、ヒトの生殖機能に大きな
影響を与え、妊孕性という「妊娠するために必要な能力」を低下させて
しまうことがあります。

AYA世代の患者さんが将来的に子供を持ちたいと希望される場合は、
自身のがん治療を最優先にすることを大前提として、治療前に以下の
妊孕性温存療法を行うことが勧められます(右図参照)。当院内では
実施しておらず、連携している東京科学大学の周産・女性診療科へ
ご紹介させていただきますが、ご自分で施設を探して頂いても構いません。

女性の場合

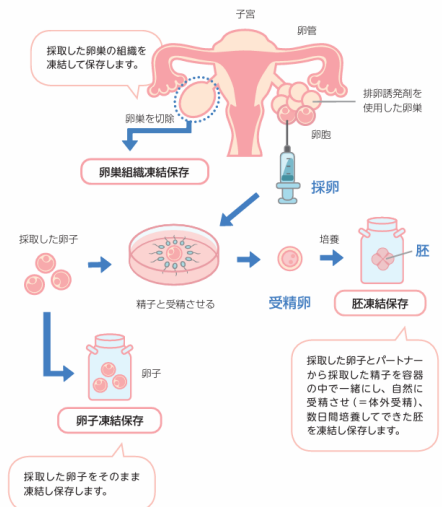
卵子または受精卵の凍結保存を行います。卵巢組織凍結保存を行える
施設もあります。

男性の場合

精子の凍結保存を行います。小児の場合は精巣の切開による精巣内精子
採取術(TESE)を行える施設もあります。

妊娠の可能性を残す方法 妊孕性温存方法

抗がん剤で影響を受ける前にあらかじめ卵子または卵巣を凍結保存する方法で、
「卵子凍結保存」「胚凍結保存」「卵巢組織凍結保存」の3通りの方法があります。



「小児・若年がん長期生存者に対する妊孕性のエビデンスと生殖医療ネットワーク構築に関する研究」班
『がん治療を開始するにあたって＜抗がん剤編＞』より

がんの病状、進行の速さ、治療内容によっては保存ができないことがあります。

また凍結しておいた卵子等を用いても、必ずしも妊娠・出産できるとは限りません。

ただ実際に保存するには時間的猶予が必要ですので、主治医やAYA支援チームに早めにご相談ください。

こちらも「東京都若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業」として生殖医療の助成金が出る場合があります。



もっと詳しくお知りになりたい方へ
病院2階のがん相談支援センターへお越しください。
(エスカレーターを上がってすぐ左にあります)



参考にしたホームページ

東京都がんポータルサイト
「AYA世代（15歳から39歳）
がんについて」

国立がん研究センター
がん情報サービス
「AYA世代の方へ」

日本がん・
生殖医療学会
ホームページ



私は普段血液内科で診療をしています、
悪性リンパ腫や白血病で実際に精子・卵子保存を
行った患者さんがいらっしゃいます。
がんも治りたい、子供も産みたい、どちらの願いも
叶うようにご協力いたします。

文責 AYA支援チーム
血液内科 副部長 医師 岡田啓五